

# 京都府における脳卒中相談窓口のこれからの展開

## 循環器病総合支援委員会

回数	開催日	議題等	議事録／議事要旨	資料等	開催案内
-	2022年6月8日 (令和4年6月8日)	脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業におけるの事業実施法人の選定について	-	▶  <a href="#">資料 [PDF形式: 57KB]</a> NEW 6月8日	-
第1回	2022年2月17日 (令和4年2月17日)	(1) 開会 (2) 循環器病総合支援委員会運営について (3) 循環器病総合支援センターモデル事業について	▶ <a href="#">議事録</a>	▶ <a href="#">資料</a>	▶ <a href="#">開催案内</a>

### 令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業における実施法人の選定について

#### 概要

- 令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業については、令和4年2月25日に公示した「令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業公募要綱」（以下、公募要綱という）において、以下のとおり採択を行うこととしていた。  
(公募要綱掲載先: [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_24113.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24113.html))

#### 【公募要綱抜粋】

##### 7. 採択方法

選考に当たっては、循環器病対策推進協議会の下に設置された総合支援委員会の委員が審査を行う。

審査に当たっては、原則、書面審査により行うこととし、総合支援に係る内容の他、都道府県における循環器病対策推進計画のこれまでの進捗状況、自治体の規模、地理的な要因などについても考慮に入れ、全体としてのバランスを踏まえて決定する。

- 公募要綱に基づき、28自治体32病院からの応募があり、病院から提出された事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った結果、別表の10自治体12病院を選定することとした。

#### 別表

No	都道府県	事業者名
1	宮城県	国立大学法人東北大学東北大学病院
2	茨城県	国立大学法人筑波大学
3	栃木県	学校法人獨協学園獨協医科大学病院
		学校法人自治医科大学
4	富山県	国立大学法人富山大学付属病院
5	三重県	国立大学法人三重大学医学部付属病院
6	京都府	京都府立医科大学付属病院
		国立大学法人京都大学
7	徳島県	国立大学法人徳島大学
8	香川県	国立大学法人香川大学
9	福岡県	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
10	熊本県	国立大学法人熊本大学熊本大学病院

# 京都府脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

京都府

京都府循環器病  
対策推進計画

京都府循環器病対策推進協議会

京都大学医学部附属病院

学会等の関連団体、他府県医療機関との  
綿密な連携体制が特徴

脳卒中相談・支援

心臓病相談窓口開設準備

- ・脳卒中療養支援センター（2022年4月設置）
- ・脳卒中専門医と多職種による支援
- ・脳卒中相談マニュアルの活用
- ・もやもや病支援センター  
（小児期から成人期まで一貫した支援）
- ・市民公開講座の定期開催、病院HPの活用
- ・地域医療機関対象研修会、勉強会等
- ・脳卒中患者・家族用冊子の開発

循環器病  
総合支援  
プロジェクト  
委員会

モデル事業  
の推進と評価を  
支援



京都府立医科大学附属病院

府内の地域医療ネットワークや近隣府県病院  
と連携した地域支援体制が特徴

心臓病相談・支援

脳卒中相談窓口併設

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口設置
- ・京都心不全ネットワーク協議会参加施設によるフォロー
- ・心不全手帳・心不全手帳アプリ版の活用
- ・小児期からの循環器・脳卒中サポート
- ・アドバンス・ケア・プランニングをサポート
- ・リハビリテーション支援センターによる府内  
リハビリテーションの均てん化
- ・高次脳機能障害の就労支援
- ・パンフレットの作成・YouTube配信等

医師会等  
関係団体

関係学会

脳卒中（急性期・慢性  
期・維持期を）を担う病院

心臓病（急性期・慢性  
期・再発予防医療）を担  
う病院

地域医療支援  
病院

地域リハビリテーション支援  
センター

患者団体

診療所

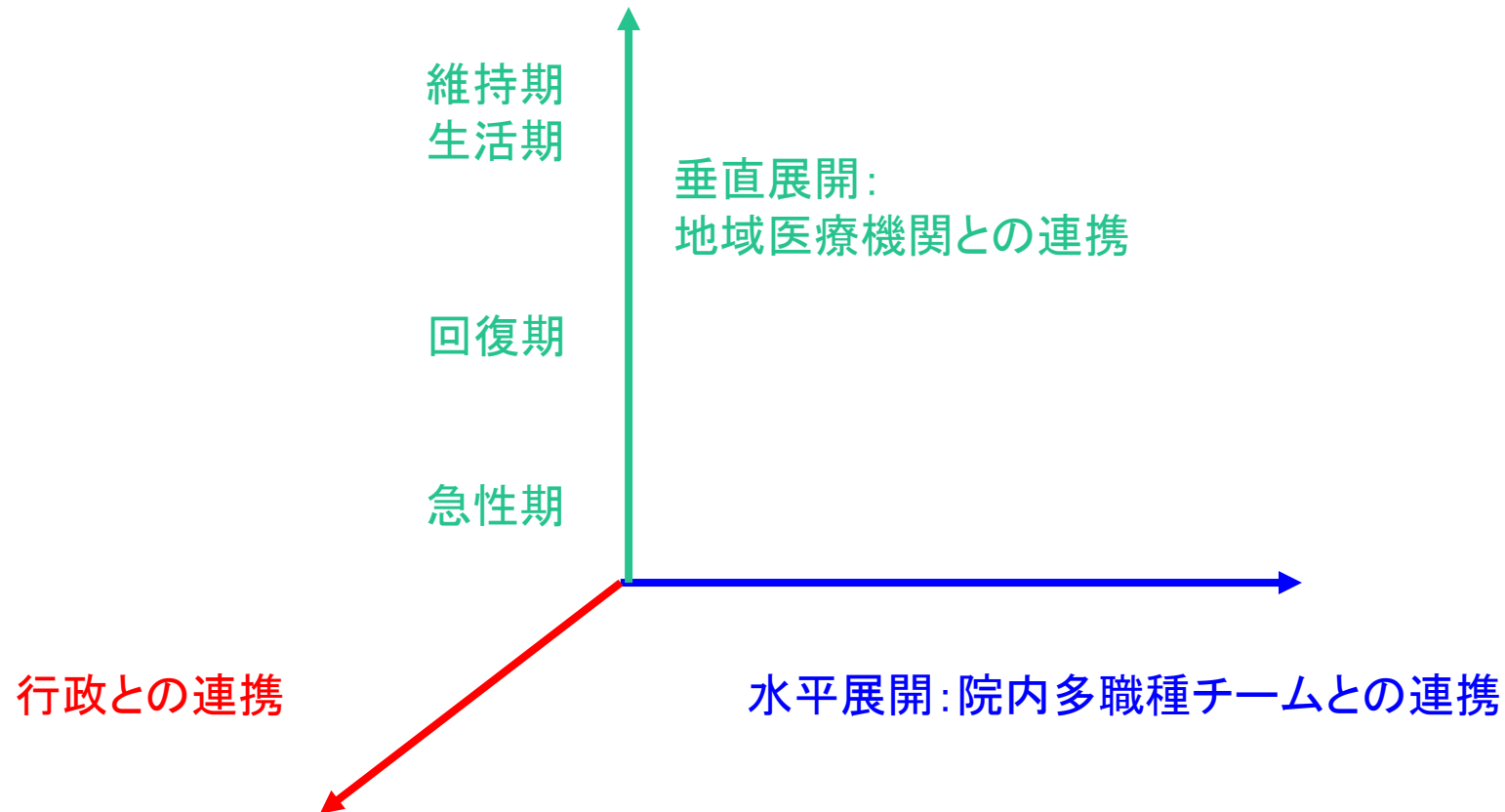
介護保険事業所

保健所  
市町村

2つの大学病院の一体的な取組による府内全域の包括的な支援体制モデルを構築

# 脳卒中相談窓口のこれからの展開

## 連携による3次元展開



## 脳卒中相談窓口のこれから(水平展開:院内連携)

### 2022年度:自院入院患者・かかりつけ患者を主な支援対象

- 脳卒中相談窓口マニュアルに基づく院内での多職種連携強化
- 入院患者家族等へシステムティックに啓発動画資材の視聴を求めなく勧奨
- 患者・とくにキーパーソン家族への情報提供連絡網システムの整備  
(web発信される啓発動画の連絡・市民公開講座の開催連絡等)

各PSCが、自院かかりつけ患者を対象として「脳卒中3ナイ会」をつくる

脳卒中にならない(予防)

手遅れにならない(急性期治療)

脳卒中に負けない(リハ・機能回復)の3ナイ



TOP > 脳卒中の予防、治療、退院後の対応について

## 脳卒中の予防、治療、退院後の対応について

脳卒中の予防に勝る治療はありません。万が一発症しても、できるだけ早く救急車を呼んで専門的治療を受けると、命を救い、症状を軽くすることが可能です。

脳卒中の予防と発症時の対応について、日本脳卒中学会が、厚生労働省2021年度「循環器病に関する普及啓発事業委託費」によって啓発資料を作成しました。制作にあたり日本脳卒中協会も協力しています。是非、次のリンクからダウンロードして、ご利用ください。

### < 脳卒中の予防・発症時の対応 >

- [脳卒中の予防・発症時の対応](#) (PDF/3,951KB)

### < 発症後社会支援の啓発資料 >

- 第1部 脳卒中の治療が始まりました ～急性期病院入院時にお伝えしたいこと～

- ・ <https://youtu.be/40rN0ZoFGnA>
- ・ [【参考資料】第1部 脳卒中の治療が始まりました](#) (PDF/174KB)
- ・ [【台本】第1部 脳卒中の治療が始まりました](#) (PDF/762KB)

- 第2部 脳卒中の治療、次の段階です ～急性期病院退院時にお伝えしたいこと～

- ・ <https://youtu.be/hKI8r2FJY7Q>
- ・ [【参考資料】第2部 脳卒中の治療、次の段階です](#) (PDF/119KB)
- ・ [【台本】第2部 脳卒中の治療、次の段階です](#) (PDF/614KB)

- 第3部 自宅退院に向けて ～退院時にお伝えしたいこと～

- ・ <https://youtu.be/rkB1bknAkg>
- ・ [【参考資料】第3部 自宅退院に向けて](#) (PDF/306KB)
- ・ [【台本】第3部 自宅退院に向けて](#) (PDF/808KB)

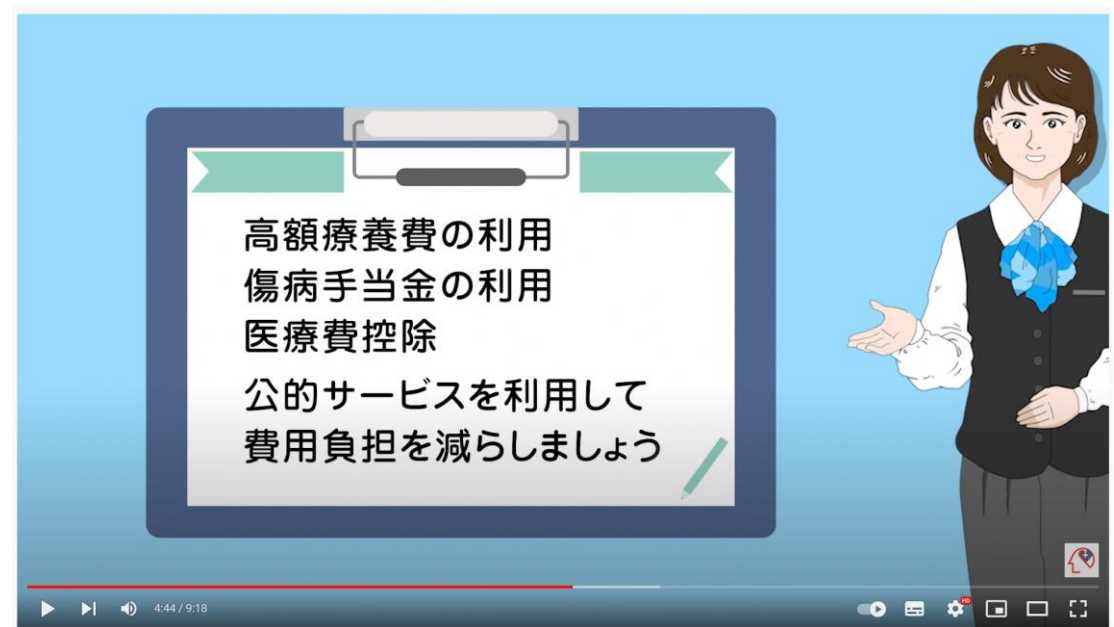
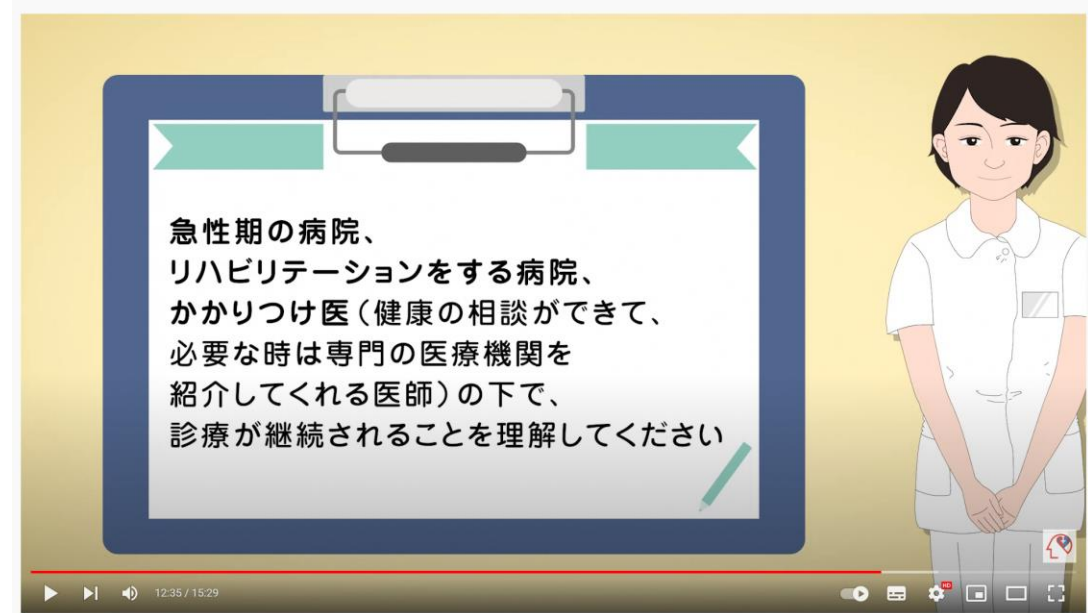
- 第4部 自宅での心得 ～退院してからも再発予防を～

- ・ <https://youtu.be/ELi5UPij-I>
- ・ [【参考資料】第4部 自宅での心得](#) (PDF/204KB)
- ・ [【台本】第4部 自宅での心得](#) (PDF/674KB)

- 第5部 続・自宅での心得 ～介護の準備をしよう～

- ・ <https://youtu.be/w-VczG5M7TY>
- ・ [【参考資料】第5部 続・自宅での心得](#) (PDF/87KB)
- ・ [【台本】第5部 続・自宅での心得](#) (PDF/329KB)

# 厚生労働省「循環器病に関する普及啓発事業委託費」啓発資料



## 患者・家族への情報提供連絡網システム「脳卒中3ナイ会」

### 自院の脳卒中患者とキーパーソン家族（web閲覧可能）を対象

- 希望者自身がQRコードからメールアドレス・氏名・診察券番号を登録
- MLを作成して、疾患管理啓発に関する情報提供  
（web発信される啓発動画の紹介・市民公開講座の開催連絡等）
- あくまで一方向性の情報提供
- 双方向性の質疑は行わない

会場開催される**従来の市民公開講座の弱点**（健康志向の強い、関心の強い人しか集まらない）を**補完**

web利用による**医療側の負担軽減**によるサステナブルな情報提供

# 「脳卒中サナイ会」

## 脳卒中にならない 手遅れにならない 脳卒中に負けない

脳卒中サナイ会とは、

- ・脳卒中にならない(予防)
- ・手遅れにならない(急性期治療)
- ・脳卒中に負けない(リハビリ)



3つの「ナイ」をスローガンに掲げ、脳卒中に関する情報発信を行う京大病院が設立した患者会です。病院と脳卒中の患者さんおよびご家族の方との顔の見える関係を目指しています。

情報発信内容は、Web市民公開講座・京大病院ホームページでの脳卒中に関連したYouTube配信などのお知らせメールを不定期に送信する予定です。

### ◆ 脳卒中サナイ会参加方法

- ① 下記のQRコードを読み取っていただくか、URLにアクセスしてください。
- ② お手元に診療カードをご用意の上、質問事項に回答いただき、送信ボタンを押してください。
- ③ 送信後1週間を目安に、メールアドレス登録完了のメールが届きます。

※登録メールが届かない場合は、登録ができていない可能性があります。携帯電話の迷惑メール受信制限などの設定上、登録完了メールが届かないことがあります。

sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp からのメールを受信できるように携帯電話の設定をお願いします。



脳卒中サナイ会  
登録フォーム: <https://forms.gle/TrVNQDHTiB36Uvb8>  
TEL: 075-751-3013

## 脳卒中サナイ会メールアドレス登録フォーム

脳卒中サナイ会は、  
・脳卒中にならない(予防)  
・手遅れにならない(急性期治療)  
・脳卒中に負けない(リハビリ)  
の3つの「ナイ」をスローガンに掲げ、脳卒中に関する情報発信を行う京大病院が設立した患者会です。  
病院と脳卒中の患者さんおよびご家族の方との顔が見える関係を目指しています。「情報発信内容」は、Web市民講座や京大病院ホームページでのYouTube配信などのお知らせをメールにて不定期に送信する予定としております。  
情報発信の受信をご希望される患者さん・ご家族の方は以下の情報を入力の上、ご登録をお願いいたします。

なお、登録は京大病院を受診したことがある患者さん・ご家族に限定しております。登録には診療カード(診察券)に記載されている番号が必要ですので、ご確認をお願いします。

club115@kuhp.kyoto-u.ac.jp (共有なし)  
[アカウントを切り替える](#)

\*必須

京大病院の診療カード(診察券)に記載されている8桁の番号を入力してください。  
00-000-000と記載されています。  
「-」(ハイフン)は記載していただくなくても結構です。

回答を入力

登録者のお名前(フルネーム)を記載してください。  
登録される方が、診療カード(診察券)に記載されている患者さんのご家族の場合は、ご家族のお名前を入力してください。

回答を入力

お知らせを受け取るメールアドレスを入力してください。\*

回答を入力

### メール登録に関するご案内と注意事項

・登録後1週間をめやすにメールアドレス登録完了のお知らせメールが送付されます。  
登録完了のお知らせメールが届かない場合は、登録ができていない可能性があります。迷惑メールフォルダ内の確認や迷惑メール受信制限の設定などをご確認ください。  
サナイ会のお知らせは、[sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp)のメールアドレスでお送りしますので、受信許可の設定をお願いします。  
登録完了のお知らせメールが確認できない場合は、お手数ですが改めて登録を行っていただくようお願いいたします。

・[sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:sannaikai@kuhp.kyoto-u.ac.jp)は、情報発信専用のメールアドレスです。病気や治療に関する個別のお問い合わせは受け付けておりませんのでご注意ください。



## 京大病院「脳卒中3ナイ会」への情報発信(予定)

### 自院入院患者・かかりつけ脳卒中患者とキーパーソン家族を対象

- 疾患管理啓発に関する情報提供(京大病院HPで公開するユーチューブ配信)

#### コンテンツ案

- 脳卒中を防ぐ栄養指導
  - 脳卒中再発を防ぐ服薬指導
  - 維持期生活期でもできるリハビリテーション
- 京都府脳卒中・心臓病等総合支援センター 市民公開講座の案内  
(京都府・京都府医師会・京大病院・京都府立医大病院 共催)

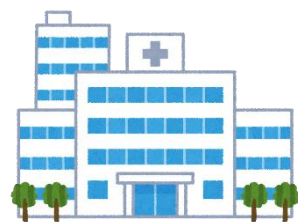
# 脳卒中相談窓口のこれから(垂直展開:地域連携)

## 2022年度目標

PSCコアと一部のPSCが、**自院**かかりつけ患者を対象として  
それぞれの「**脳卒中3ナイ会**」をつくる

## 2023年度目標

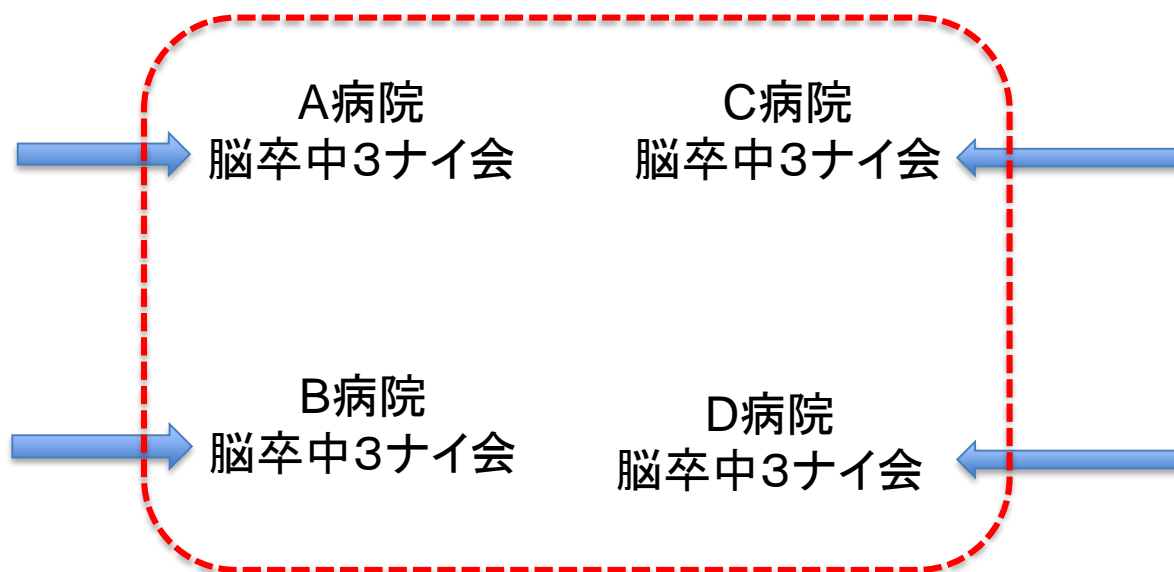
回復期病院に拡大



A病院



B病院

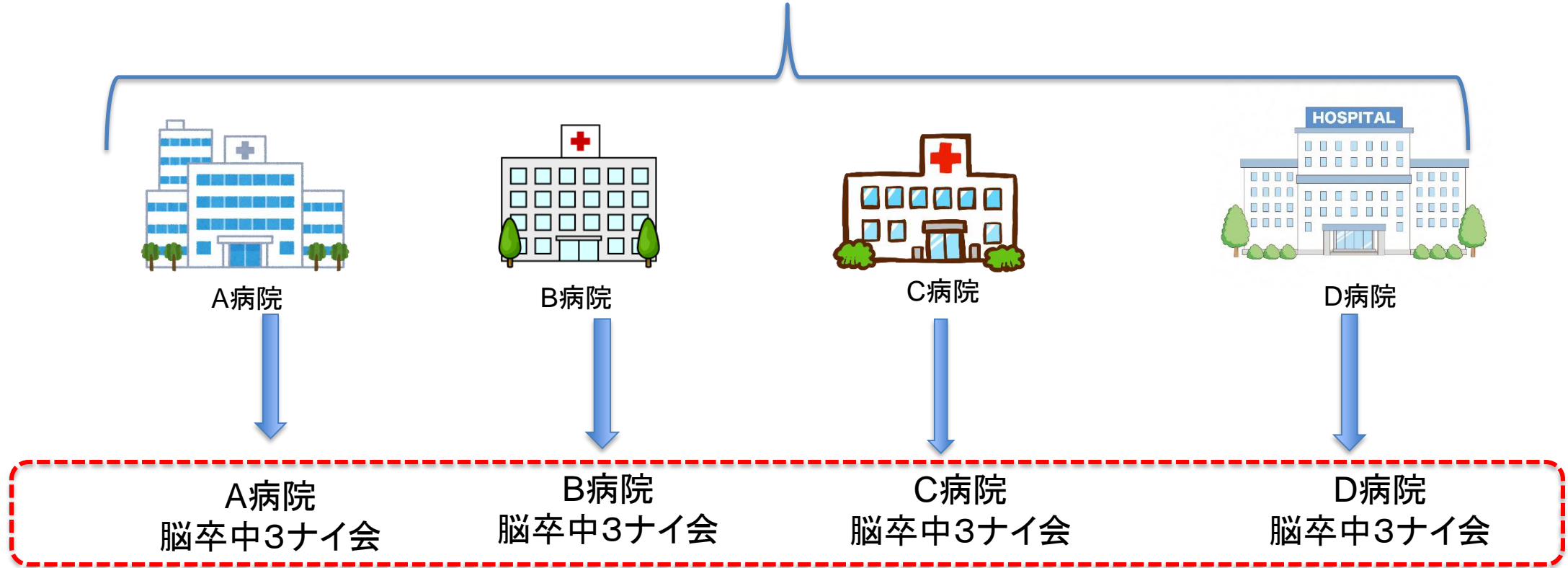


C病院



D病院

# 京都府 PSC責任者会議



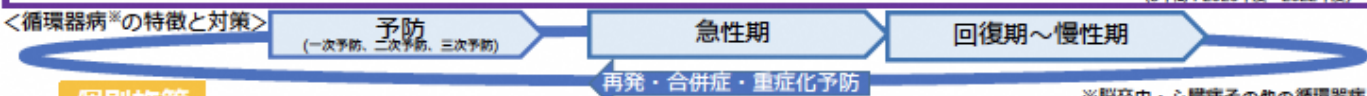
⇒ 京都府内の複数施設の脳卒中患者・キーパーソン家族に一斉に情報提供が可能になる

## 脳卒中相談窓口のこれから(行政・医師会との連携)

- 脳卒中関連医療機関(急性期～回復期～維持期)の多職種連携強化
  - 地域連携多職種webセミナー「脳卒中診療の明日へのシナリオin京都」  
(日本脳卒中学会京都府脳卒中対策推進委員会・京都府医師会・京都府市立病院協会・企業共催)  
第1回(2022年9月15日開催):参加212名(内 医師72名)  
第2回(2023年3月23日開催予定)
  - 日本医療ケア従事者連合 京都支部 設立
- 都道府県行政(循環器病対策協議会)との連携強化
  - 京都府脳卒中・心臓病等総合支援センター 市民web公開講座(会場併設)  
(京都府・京都府医師会・京大病院・京都府立医大病院 共催)

## 循環器病対策推進基本計画 概要

**全体目標** 「1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」「2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」「3. 循環器病の研究推進」に取り組むことにより、2040年までに3年以上の健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少を目指して、予防や医療、福祉サービスまで幅広い循環器病対策を総合的に推進する。  
(3年間：2020年度～2022年度)



### 個別施策

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 - 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組み構築

#### 1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○ 循環器病の発症予防及び重症化予防、子どもの頃から国民への循環器病に関する知識(予防や発症早期の対応等)の普及啓発

#### 2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進 → 特定健康診査・特定保健指導等の普及や実施率向上に向けた取組を
- ② 救急搬送体制の整備 → 救急現場から医療機関に、より迅速かつ適切に搬送可能な体制の構
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築 → 地域の実情に応じた医療提供体制構築
- ④ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援 → 多職種連携し医療、介護、福祉を提供する地域包括ケアシステム構
- ⑤ リハビリテーション等の取組 → 急性期～回復期、維持期・生活期等の状態や疾患に応じて提供する
- ⑥ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援 → 科学的根拠に基づく正しい情報提供、患者が相談できる総合的な取
- ⑦ 循環器病の緩和ケア → 多職種連携・地域連携の下、適切な緩和ケアを治療の初期段階から
- ⑧ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援 → 手足の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対し支援
- ⑨ 治療と仕事の両立支援・就労支援 → 患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取組を推
- ⑩ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策 → 小児期から成人期にかけて必要な医療を切れ目なく行える体制を整

#### 3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明や予防、診断、治療、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発
- 基礎研究から診断法・治療法等の開発に資する実用化に向けた研究までを産学連携や医工連携を図りつつ推進
  - 根拠に基づく政策立案のための研究の推進

### 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

- 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化、都道府県による計画の策定、基本計画の評価・見直し、等

一般社団法人 **日本脳卒中学会** The Japan Stroke Society

English

会員専用ページ | 選挙専用ページ | 年次報告入力ページ

学会について | 一般の方へ | 会員・医療関係者の方へ | 学術集会・関連学会 | ガイドライン・各種指針

TOP > ガイドライン・各種指針・手引き・推奨

### ガイドライン・各種指針・手引き・推奨

#### ★ ガイドライン

- ① 脳卒中における終末期医療に関するガイドライン (PDF/364KB)
- ② 脳卒中診療における遠隔医療 (Telestroke) ガイドライン (PDF/1,435KB)

#### ★ ステートメント

- ① 自宅復帰困難な後遺症を呈する脳卒中の維持期（生活期）における緩和と療養に関する提言 (PDF/303KB)
- ② 重症脳卒中救急における治療介入のあり方に関するステートメント (PDF/388KB)
- ③ 重症脳卒中の維持期における緩和と療養に関する提言 (PDF/237KB)



軽症

# 自宅復帰 軽症例への緩和(脳卒中相談窓口マニュアル)

脳卒中相談窓口マニュアル

一般社団法人日本脳卒中学会

Version 1.0 (2022.3.4)

# 自宅復帰困難な中等症例への緩和と療養 提言

自宅復帰困難な中等症例を呈する脳卒中の維持期（生活期）における緩和と療養に関する提言

一般社団法人日本脳卒中学会

# 重症 緩和と療養 提言

重症脳卒中の維持期における緩和と療養に関する提言

一般社団法人日本脳卒中学会

# 重症治療介入ステートメント

# 終末期GL

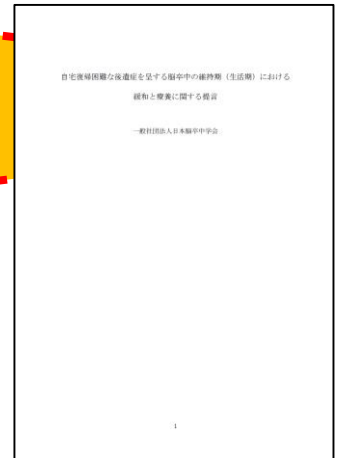
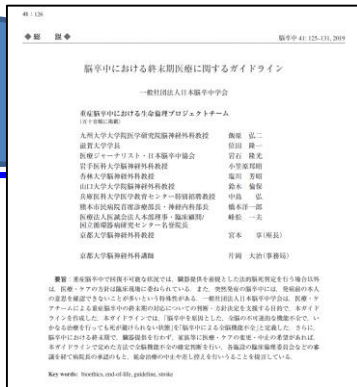
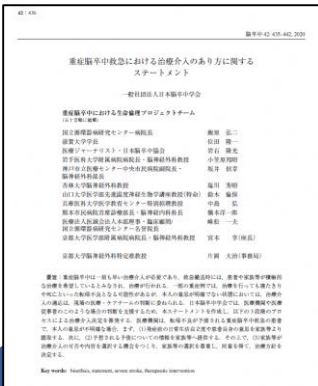
重症

# 急性期

# 回復期

# 生活期

# 維持期



# 京都府における脳卒中多職種連携 (SCPA-Japan京都支部)



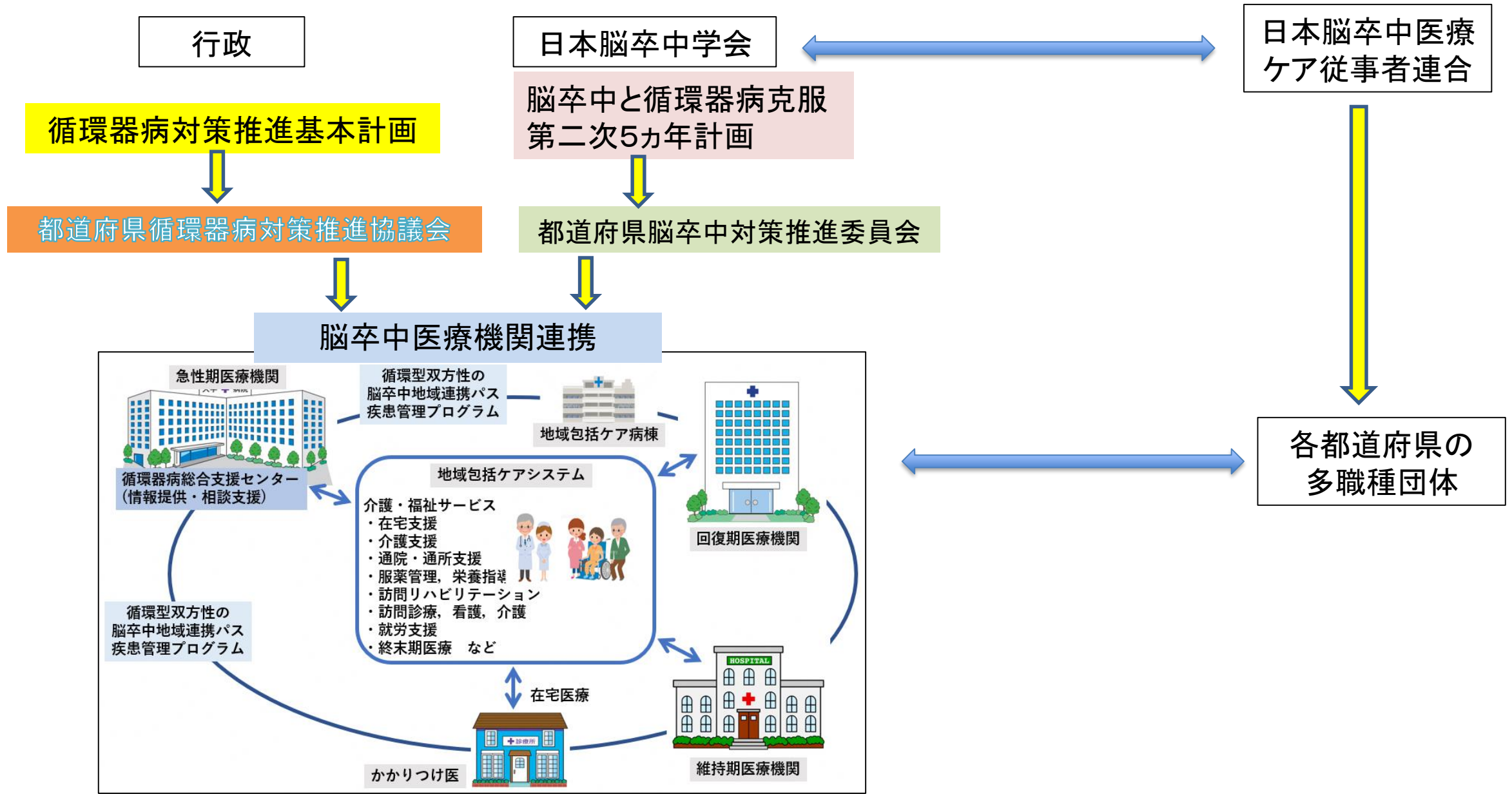
## SCPA Japan京都支部

- 公益社団法人 日本脳卒中協会京都府支部
- 一般社団法人 京都医療ソーシャルワーカー協会
- 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 一般社団法人 京都府理学療法士会
- 一般社団法人 京都府言語聴覚士会
- 一般社団法人 京都府作業療法士会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会 病院診療所部会
- 公益社団法人 京都府栄養士会

脳卒中学会 各都道府県脳卒中对策推進委員会・PSC責任者会議

主に急性期施設へのアプローチに留まる

回復期～維持期・生活期への展開には 地域連携・多職種連携のチカラが必要



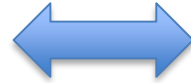
連携パスによる**医療情報の共有** と共に **相談支援・説明内容の共有**ができる連携

# 多職種連携による相談支援体制の整備

## 連携パスによる医療機関の連携



急性期病院



回復期病院



維持期・生活期施設

脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種A)

脳卒中療養相談士(職種B)

脳卒中療養相談士(職種B)

脳卒中療養相談士(職種B)

脳卒中療養相談士(職種C)

脳卒中療養相談士(職種C)

脳卒中療養相談士(職種C)

## 多職種地域連携

## 院内多職種連携

# 脳卒中相談窓口マニュアルのコンテンツは多岐にわたる。どのように実践していくか？

## 脳卒中相談窓口マニュアル

一般社団法人日本脳卒中学会

Version 1.0 (2022.3.4)

### 脳卒中相談窓口マニュアル目次

執筆者一覧	2
はじめに	4
一般社団法人日本脳卒中学会理事長あいさつ	5
脳卒中相談窓口マニュアル	
1. 脳卒中相談窓口の設置と背景 (一般社団法人日本脳卒中学会)	8
2. 対象、設置場所と求められる職種 (一般社団法人日本脳卒中学会)	9
3. 社会的ニーズに合った具体的な役割 (一般社団法人日本脳卒中学会)	10
4. 脳卒中療養相談士に求められること	
4-1. 脳卒中診療システムの理解 (一般社団法人日本脳卒中学会)	11
4-2. 脳卒中予防と合併症などに関する基本的な医学的知識 (一般社団法人日本脳卒中学会)	11
4-3. 地域連携バス (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	12
4-4. 地域包括ケアシステムの概略 (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	13
4-5. 介護保険 (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	13
4-6. 各種福祉サービス (一般社団法人日本介護支援専門員協会)	14
4-7. 緩和ケア (一般社団法人日本脳卒中学会)	15
4-8. 治療と仕事の両立支援	
1) 治療と仕事の両立支援とは (一般社団法人日本脳卒中学会)	15
2) 就労への支援 (一般社団法人日本作業療法士協会、公益社団法人日本理学療法士協会)	16
4-9. 障害者手帳の申請 (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	17
4-10. 高次脳機能障害への支援 (一般社団法人日本言語聴覚士協会、一般社団法人日本作業療法士協会)	18
4-11. 心理的サポート、経済的サポート	
1) 看護師から (日本脳神経看護研究会、日本ニューロサイエンス看護学会)	18
2) 医療ソーシャルワーカーから (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	19
3) リハビリテーション専門職から (一般社団法人日本作業療法士協会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本言語聴覚士協会)	20
5. 長期的なリハビリテーションを受けるために	
5-1. リハビリテーション専門職から	

1) 装具・車いす等の作製・修理の制度 (一般社団法人日本神経理学療法学会)	22
2) 在宅での運動・自主トレーニングに関する制度 (一般社団法人日本神経理学療法学会)	22
3) 寝たきりゼロへの10か条 (公益社団法人日本理学療法士協会)	23
5-2. 看護師から (日本ニューロサイエンス看護学会、日本脳神経看護研究会)	23
6. 今後の展望・報告と検証について (一般社団法人日本脳卒中学会)	25
7. 協力団体と日本脳卒中医療ケア従事者連合について (一般社団法人日本脳卒中学会)	26
8. 参考 (公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)	
8-1. 介護者負担の軽減	27
8-2. 休業補償・所得補償など	27
8-3. 受診中断者への支援 (アウトリーチ)	28
8-4. 必要な社会資源開発への取り組み	28
さいごに	30



# 脳卒中相談窓口マニュアルに記載されたコンテンツのこれからの展開

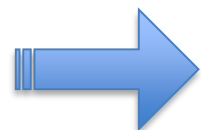
## 2022年度

脳卒中相談窓口マニュアルの中で、  
まずは疾患管理・予防に関する啓発活動と情報提供から着手

## 2023年度

緩和療養に関する説明と意思決定支援の整備

- 急性期医療機関からの退院・転院時の説明と支援
- 転院先医療機関とのの情報共有



療養や生活面での課題解決に向けた支援(まず両立支援から)

# 京都府立医科大学 循環器病総合支援センターについて

# 京都府立医科大学 循環器病総合支援センター・移行期医療支援センター 体系図

## 京都府立医科大学附属病院

京都府

京都府

連携

連携

地域の病院

地域の病院

連携・勉強会

連携・勉強会

かかりつけ医

かかりつけ医

適切な手法の提供  
データ入力支援

- ・連携クリニック
- ・循環器病の緩和ケア、後遺症を有する患者に対する必要な情報提供 など

- ・小児・成人診療科を含めた多職種による移行期医療ケア
- ・地域医療機関、成人診療科との情報共有のための長期フォローアップ などの整備 など

情報提供、啓発活動  
(講演会、リーフレット)

### 相談窓口設置

自律（自立）支援に対する情報と支援  
社会福祉的支援・就労支援  
啓発活動（講演会、リーフレット）

循環器病総合支援センター：看護師 1名、事務職員 1名  
移行期医療支援センター：臨床心理士 1名 (R4.11月配置)  
(移行期医療コーディネーター)  
がん相談等：看護師 2名 (うち1名臨床心理士資格有)  
臨床心理士 1名、社会福祉士 1名 (募集中)  
(成人 3名、小児 1名体制)  
※同一室内で連携しながら、さまざまな相談に対応

患者、地域住民

患者、地域住民

# 循環器相談支援部門の体制と業務

## 循環器相談支援部門(仮称)の体制

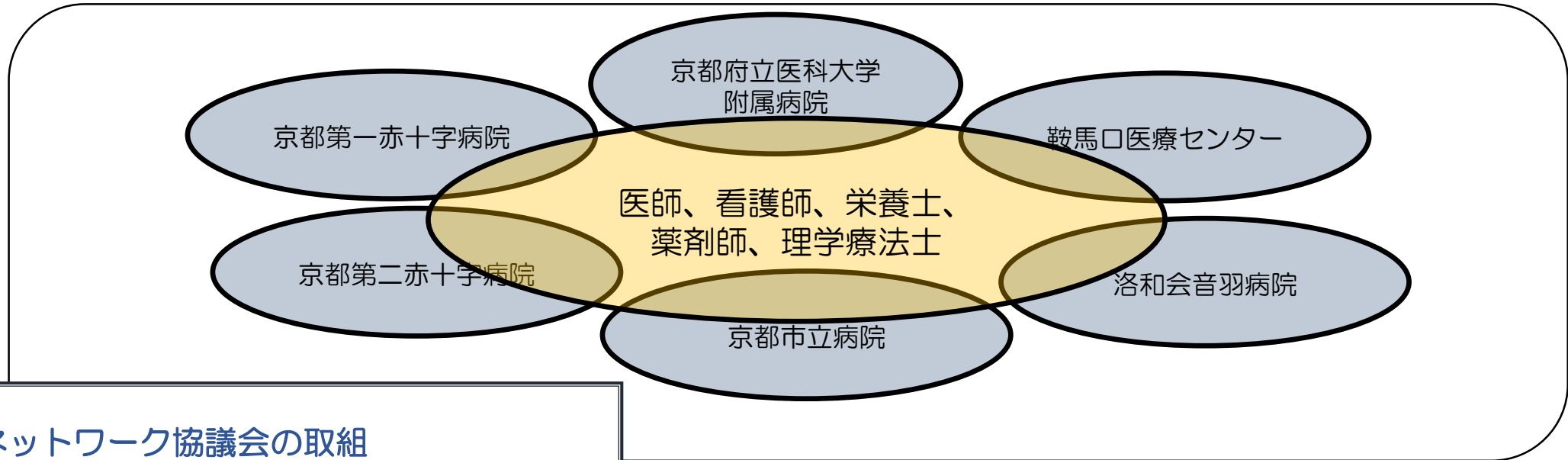
相談支援及び情報提供を行う機能を有する部門を設置し、①から⑤の体制を確保した上で、当該部門においてア～キまでに掲げる業務を行う

- ①循環器疾患患者の相談支援および情報提供に関する能力を有する専従並びに専任の相談支援に携わる者を配置する。
- ②院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外の循環器疾患患者及び家族及び地域住民及び医療機関等からの相談に対応する体制を整備する。また、相談支援に関する十分な経験を有する循環器疾患患者団体との連携協力体制を構築する。
- ③相談支援部門の機能について、主治医等から患者及び家族に対し周知が図られる体制を整備する。
- ④相談支援の業務内容が相談者のニーズと合致するよう、相談者からフィードバックを得る体制を整備する。
- ⑤都道府県協議会での相談支援部門の体制に関する協議や、地域医療機関、在宅医療を提供する病院及び診療所、地域包括支援センター等との情報共有や役割分担を含む協力体制を構築する。

## 循環器相談支援部門(仮称)の業務

- ア. 循環器疾患の病態及び標準的治療及び循環器疾患の予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供
- イ. 循環器疾患患者の療養上の相談
- ウ. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- エ. 専門性の高い相談支援が必要な場合の、院内外の医療従事者の紹介
- オ. 地域医療機関及び医師等診療従事者及び介護福祉施設に関する情報の収集、提供
- カ. 患者／家族が組織する患者会や患者サロンなど患者活動に対する後方支援
- キ. 相談支援部門の広報・周知活動

# 京都心不全ネットワーク協議会の取組



## 京都心不全ネットワーク協議会の取組

- 2019.8.29 キックオフミーティング
- 2019.12.19 世話人会
- 2020.1.23 全体会議 訪問看護ステーション向け説明会
- 2020.11.12 オンライン会議 介護事業所向け
- 2020.11.19 WEB講演会（心不全の地域連携の課題等）
- 2021.1.14 オンライン勉強会
- 2021.1.19 新規参加病院 代表医師向け
- 2021.1.28 新規参加病院向け説明会
- 2022.6.16 講演会（心不全と緩和ケア）
- 2022.7.21 庫宴会（心不全患者の認知機能評価等）
- 2022.9.1 心不全シール薬局説明会
- 2022.9.15 講演会（高カリウム血症を考える）
- 2022.10.10 講演会（心不全と貧困を考える）
- 2022.10.27 講演会（心不全と心臓リハビリテーション）

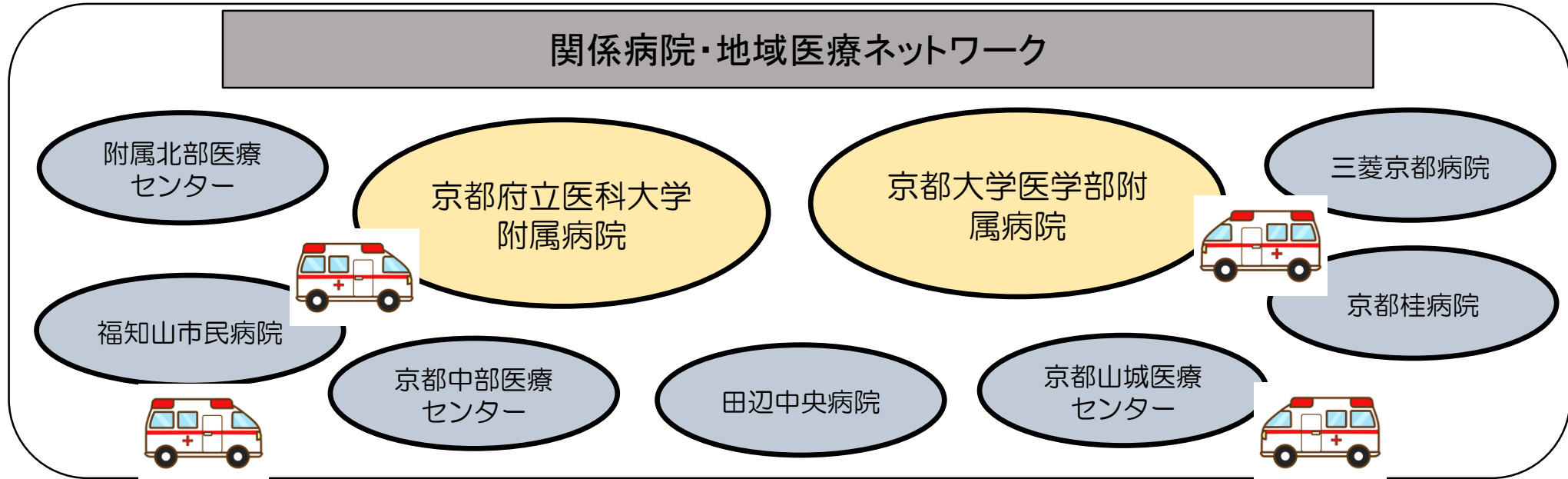
「心不全パンフレット」（心不全手帳）  
「心不全記録用手帳」の発行

病気を正しく知っていただくため、「あなたとあなたのご家族を守るために（心筋梗塞と弁膜症）」、「あなたとあなたのご家族を守りために（不整脈）」を表題とした漫画解説本を作成





# 地域医療機関との連携



京都府立医科大学附属病院の関係病院ネットワークや地域医療ネットワークには2千弱の医療機関が登録され、このネットワークを活用し、各診療科から様々な情報を発信。地域連携室では、「地域カンファレンス」を実施し、「心臓外科領域の最先端」、「血管外科領域の最先端」と題した講演を開催。

また、急性心筋梗塞の迅速な診断のために心電図伝送システム「クラウド型12誘導心電図伝送システム」を開発。

本システムは、中・北部、南部の救急告示病院に患者が搬送される前に心筋梗塞の診断を付けられれば、前もってスタッフの招集などに役立てることができ、早期治療に結びつけることが可能。

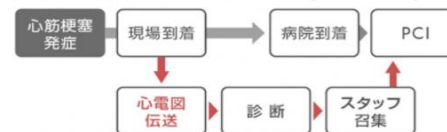
## クラウド型12誘導心電図伝送システムの概要



【心電図伝送なし】



【心電図伝送あり】



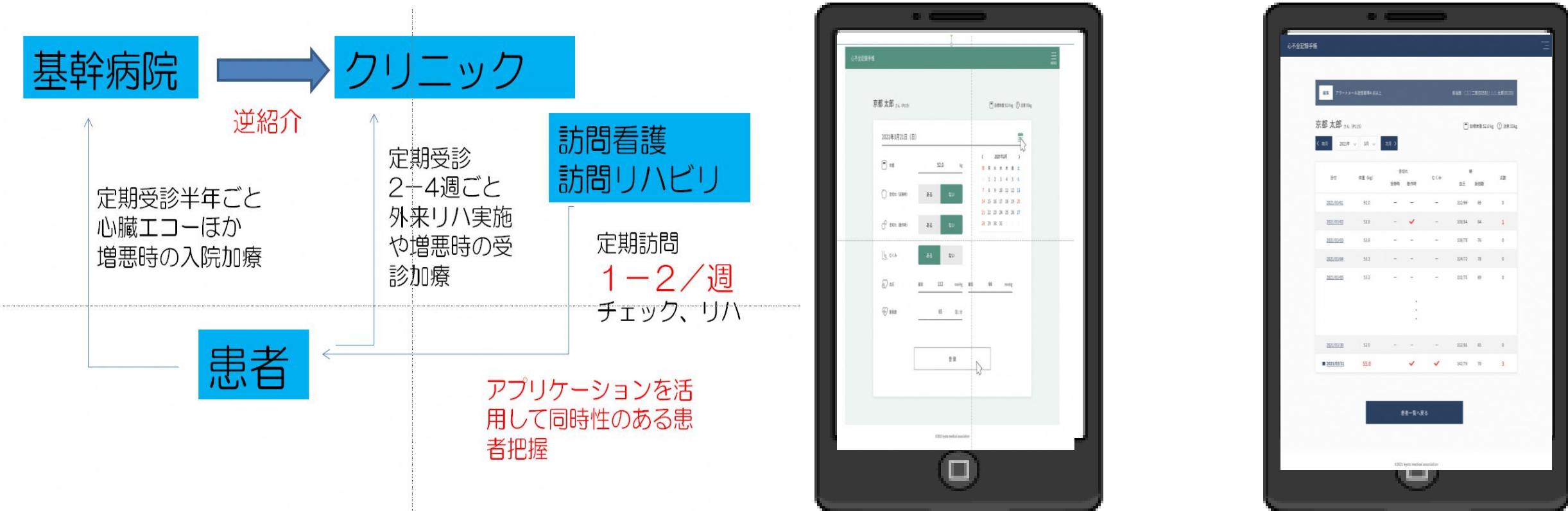
伝送された12誘導心電図をみて、患者が搬入される前にスタッフを召集できる。

搬入後すぐにカテ室入室が可能になる。

# 病院とクリニック、在宅との連携

病院からクリニックへ逆紹介、心不全管理の主体をクリニック、在宅に移行し、より細やかで頻度の高いフォローアップを手帳や、アプリケーションソフトを用いて実施することで心不全管理の質の向上を図る。

アプリケーションソフトは、患者が入力することで自動的に心不全ポイントが計算される。アラートの点数に達した場合には受診勧奨のアラート画面に切り替わり、患者の受診勧奨を勧める機能がある。また、入力した日々のデータは管理者（主治医）が逐次確認できるため、アラートがあっても受診がない場合には電話で連絡を取るなど、遅滞なき介入が可能となる。



# 令和4年度の主な啓発活動

## 【京都心不全ネットワーク 講演会】

- ・日 時 令和4年6月16日（木） 18:30～19:50
- ・会 場 オンライン開催（ZOOM）
- ・対 象 医療関係者（関係病院）
- ・内 容 一般講演 「在宅における心不全終末期ケアとチーム医療について症例を通して考える」  
演者 のぞみハートクリニック 看護師 西田 早織 先生  
特別講演 「心不全に対する緩和ケア ～症状緩和のための薬物療法を中心に～」  
演者 京都府立医科大学附属病院 疼痛・緩和医療部 准教授 上野 博司 先生

## 【京都心不全ネットワーク 講演会】

- ・日 時 令和4年7月21日（木） 19:00～20:40
- ・会 場 オンライン開催
- ・対 象 医療関係者（関係病院）
- ・内 容 一般講演 「心不全患者の認知機能評価 バイオマーカーを用いた定量的評価の現状」  
演者 京都府立医科大学 脳神経内科学 分子脳病態解析学講座 助教 森井 芙貴子 先生  
特別講演Ⅰ 「慢性心不全診療の新たなる展開 ～EMPEROR-Reduced・Preserved試験から考察する～」  
演者 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科学 教授 的場 聖明 先生  
特別講演Ⅱ 「超高齢社会における心不全患者のリハビリテーション地域連携について」  
演者 神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部 主査 岩田 健太郎先生

## 【オープンホスピタル】

- ・日 時 令和4年11月3日（木） 於：京都府立医科大学管理棟5階 第5会議室
- ・対 象 府民
- ・内 容 部署紹介 病院をより知っていただけるよう、紹介動画を上映するとともに、パンフレット等を配布

# 令和4年度の主な啓発活動

## 【地域連携カンファレンス】

- ・日時等 令和4年12月3日（土）14:00～16:00（オンライン開催）
- ・対象 医療関係者（関係病院）
- ・内容 講演Ⅰ 「地域で考える急性冠症候群のQuality of Care」  
演者 京都大学大学院医学研究科循環器内科 助教 塩見 紘樹 先生  
講演Ⅱ 「心不全パンデミックにおける地域連携システムの構築の重要性」  
演者 京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器・腎臓内科学 講師 白石 裕一 先生

## 【府民公開講座】

- ・日時 令和5年2月4日（土） 18:30～19:50
- ・会場 ハイブリッド開催／京都府立医科大学図書館ホール（WEB視聴できない希望者）
- ・対象 府民
- ・内容 ①他職種・地域連携による脳卒中患者さん・ご家族への相談支援の整備  
京都大学医学部附属病院 病院長 宮本 享 先生  
②若年期から高年期までの心血管疾患患者さん・ご家族への相談支援  
京都府立医科大学附属病院 循環器内科 診療部長 的場 聖明 先生  
③かかりつけ医による脳卒中・心臓病の再発予防管理（仮） 京都府医師会  
④再発しないためのお薬の飲み方（仮） 京都府薬剤師会  
⑤脳卒中・心臓病患者への行政サポート・社会的支援（仮） 京都府健康福祉部  
⑥脳卒中・心臓病等総合支援センターに期待すること 全国心臓病の子供を守る京都支部・もやの会（もやもや病患者会）事務局

## 【啓発用DVD作成】

- ・全国の6循環器病総合支援センターにおいて、循環器疾患に係る啓発用DVDを作成（予定）
- ・京都府立医科大学附属病院HPに掲載（予定）